

II 知的障害のある生徒の高等学校における学習機会の充実

OH17 府学校教育審議会答申
「高等学校における知的障害のある生徒の受入れ方策について」(抜粋)

【今後の方向性】

- 大阪府が全国に先駆けて知的障害のある生徒の高等学校への受入れを施策として展開していく意義は大きい。
- 知的障害のある生徒が高等学校で学ぶための施策を計画的に推進していくことが必要である。

【調査研究を継承する取組み】

自立支援推進校
(知的障害生徒自立支援コース設置)

【調査研究の趣旨を活かした取組み】

共生推進モデル校
(共生推進教室設置)

上記の高等学校の配置は、府内全域において知的障害のある生徒が志願できるよう、現行及び将来の高等学校の通学区域を踏まえて地域バランスを保ち、通学時間やニーズ等を考慮し検討する必要がある。

平成19年度 自立支援推進校(知的障害生徒自立支援コース設置校)

校名	所在地	通学区域	1学年生徒数
府立園芸高等学校	池田市	府内全域	3
府立阿武野高等学校	高槻市	1区	3
府立柴島高等学校	大阪市東淀川区	府内全域	3
府立枚方なぎさ高等学校	枚方市	2区	2
府立八尾翠翔高等学校	八尾市	3区	2
府立西成高等学校	大阪市西成区	3区	3
府立松原高等学校	松原市	府内全域	3
府立堺東高等学校	堺市	府内全域	2
府立貝塚高等学校	貝塚市	府内全域	2

○入学者選抜を実施する知的障害生徒自立支援コースを府立の高等学校9校に設置し、自立支援推進校とする。

* 大阪市立の高等学校2校においても、知的障害生徒自立支援コースが設置されている。

平成19年度 共生推進モデル校

校名	所在地	通学区域	1学年生徒数
府立枚岡樟風高等学校 (共生推進教室設置)	東大阪市	府内全域 (大阪市除く)	2
府立たまたがわ高等支援学校	東大阪市	同上	48

○入学者選抜状況 (「大阪の教育をめぐる状況」P. 44)

- ・自立支援コース H18 3.43倍 H19 3.36倍
- ・府立たまたがわ高等支援学校
本校 H18 1.4倍 H19 1.92倍
共生推進教室 H18 0.5倍 H19 1.5倍

○府立たまたがわ高等支援学校の共生推進教室を府立枚岡樟風高等学校内に設置し、両校の連携協力のもと、たまたがわ高等支援学校の生徒が枚岡樟風高等学校において教育を受けている。

III 義務教育における「ともに学び、ともに育つ」教育の推進 IV 一人ひとりのニーズに応じた教育の充実 V 府立盲・聾・養護学校のセンター的機能の発揮

